

2019年9月期決算概況 & 2020年9月期の見通し



西尾レントオール株式会社

1. 2019/9月期 連結損益計算書

(単位:百万円)

	2018/9月期	2019/9月期	増 減	前期比 (%)
売上高	136,682	153,939	17,256	112.6
・レンタル関連事業	133,012	149,126	16,113	112.1
・その他事業	3,670	4,813	1,143	131.1
営業利益	14,770	15,659	889	106.0
・レンタル関連事業	14,442	14,867	425	102.9
・その他事業	269	750	480	278.2
・調整額	58	41	△16	—
営業外収支	△280	△632	△351	—
経常利益	14,489	15,027	538	103.7
特別損益	△106	86	193	—
税引前当期純利益	14,382	15,114	731	105.1
親会社株主に帰属する当期純利益	9,323	9,704	380	104.1

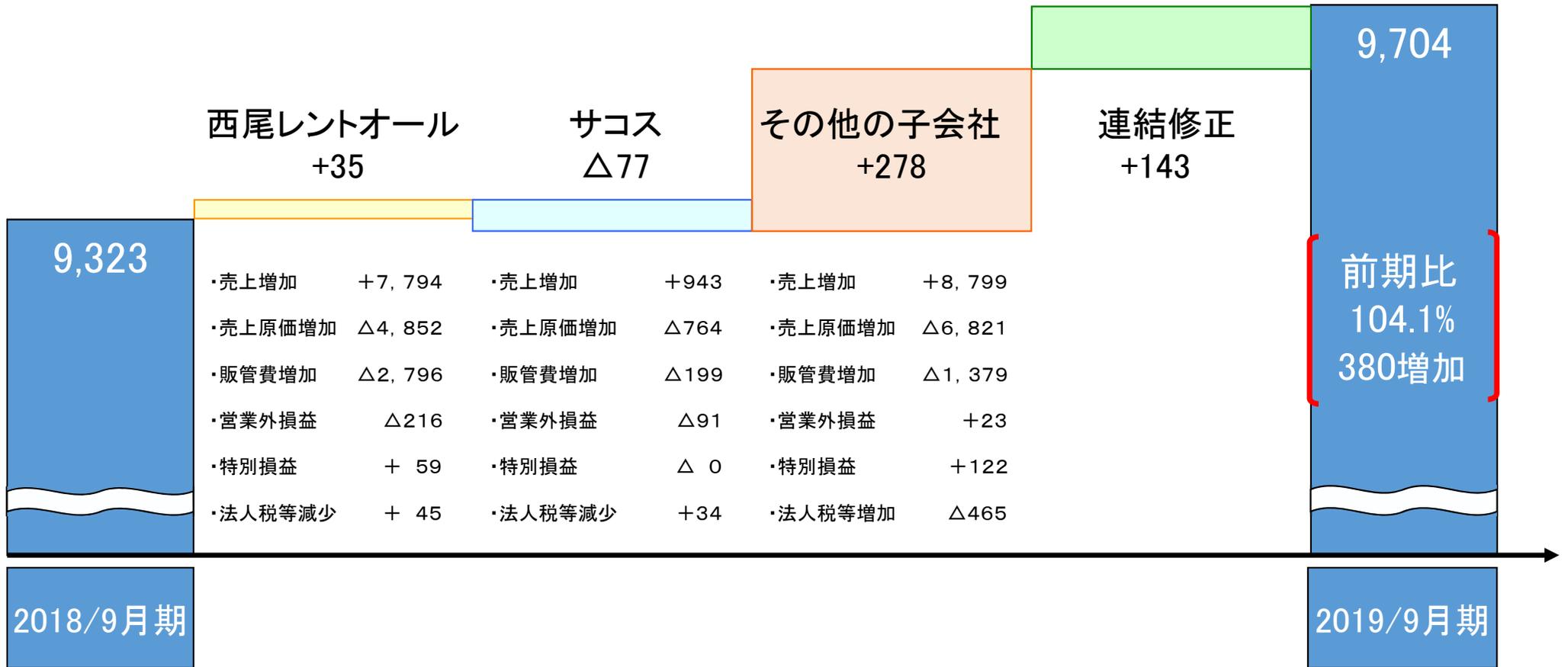
2. 2019/9月期 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2018/9月期	2019/9月期	増 減	前期比 (%)
現金・預金	28,902	31,673	2,770	109.6
受取手形・売掛金	39,660	42,704	3,043	107.7
その他流動資産	11,602	12,963	1,360	111.7
賃貸用資産	60,703	72,660	11,956	119.7
土地	24,208	25,881	1,672	106.9
建物等	9,914	11,742	1,828	118.4
その他固定資産	7,748	11,544	3,796	149.0
投資等	5,483	5,775	291	105.3
資産合計	188,224	214,944	26,720	114.2
支払手形・買掛金	21,400	22,945	1,544	107.2
設備未払金・設備支払手形	10,823	12,547	1,724	115.9
リース債務	33,482	38,930	5,448	116.3
借入金・社債	14,476	24,210	9,734	167.2
その他負債	15,222	17,084	1,862	112.2
負債合計	95,404	115,718	20,314	121.3
株主資本	89,443	96,254	6,811	107.6
その他の包括利益累計額	△64	△465	△401	-
新株予約権	30	30	0	97.9
非支配株主持分	3,409	3,406	△3	99.9
純資産合計	92,819	99,225	6,406	106.9
負債純資産合計	188,224	214,944	26,720	114.2

3. 2019/9月期 利益増減要因

(単位: 百万円)



為替、M&Aによるのれんの影響があったものの、業容は概ね期初計画通りに推移。

※…上記利益増減は、「親会社株主に帰属する当期純利益」の増減要因を表示しております。

4. 2019/9月期 売上構成(①連結各社構成)

(単位:百万円)

会社名	2018/9月期 売上高	2019/9月期 売上高	増 減	前期比 (%)
西尾レントオール	86,994	94,789	7,794	109.0
サコス	16,046	16,990	943	105.9
三央	3,663	5,782	2,119	157.9
ニシオティーアンドエム	5,969	6,600	630	110.6
その他 国内子会社(11社)	23,037	26,609	3,571	115.5
海外子会社(18社)	10,345	12,823	2,478	124.0
連結修正	△9,375	△9,656	△280	-
合計	136,682	153,939	17,256	112.6

海外子会社は、M&Aで新規連結した会社による増収効果(売上29億円)
前期にM&Aした会社と今期より新規連結したUPR社(2ヶ月分)、レンクロー社(1ヶ月分)が算入

5. 2019/9月期 売上構成(②地域別売上構成)

(単位:百万円)

地域	2018/9月期 売上高	2019/9月期 売上高	増 減	前期比 (%)
北海道・東北	16,430	19,229	2,798	117.0
関東	47,486	53,346	5,859	112.3
中部・東海	12,413	13,251	837	106.7
近畿	22,987	26,230	3,243	114.1
中四国	9,126	10,105	979	110.7
九州	6,141	6,744	602	109.8
海外	11,469	13,885	2,416	121.1
その他(本社売上)	5	156	151	2917.8
建機部門 小計	126,060	142,949	16,888	113.4
イベント部門	10,621	10,989	367	103.5
合計	136,682	153,939	17,256	112.6

6. 2020/9月期 PL計画

(単位:百万円)

	2019/9月期 実績	2020/9月期 計画	増 減	前期比 (%)
売上高	153,939	161,830	7,890	105.1
・レンタル関連事業	149,126	157,169	8,043	105.4
・その他事業	4,813	4,660	△152	96.8
営業利益	15,659	16,640	980	106.3
・レンタル関連事業	14,867	16,251	1,384	109.3
・その他事業	750	388	△362	51.7
・調整額	41	—	△41	—
営業外収支	△632	△840	△207	—
経常利益	15,027	15,800	772	105.1
特別損益	86	△100	△186	—
税引前当期純利益	15,114	15,700	585	103.9
親会社株主に帰属する当期純利益	9,704	9,900	195	102.0

7. 2020/9月期 設備投資・減価償却費計画

(単位:百万円)

	2019/9月期 実績	2020/9月期 計画	増 減	前期比 (%)
【投資・償却】				
設備投資額	48,334	49,000	665	101.4
・レンタル資産	38,940	34,633	△4,306	88.9
・社用資産	9,394	14,366	4,972	152.9
減価償却費	28,788	32,000	3,211	111.2
・レンタル資産	25,993	28,585	2,592	110.0
・社用資産	2,795	3,414	619	122.2
【KPI】				
EBITDA	44,448	48,640	4,191	109.4

レンタル資産の設備投資は、EBITDAの金額を上限とし、ROI向上に繋がる投資を推進

(注) 1.減価償却費(レンタル資産) = 一時償却資産 + リース調達(FL・オペレーティングリース) + B/S計上分
 2.EBITDA = 営業利益 + 減価償却費(レンタル資産 + 社用資産)

8. 2020/9月期 各種KPI計画・配当予測

	2019/9月期 実績	2020/9月期 計画	増 減	前期比 (%)
--	----------------	----------------	-----	------------

【KPI】

ROE	10.5%	9.9%	△0.6%	-
自己資本比率 (中期計画目標 50%以上)	44.6%	44.2%	△0.4%	-
有利子負債月商倍率 (" 5.5ヶ月以下)	4.9ヶ月	5.3ヶ月	+0.4ヶ月	-
現預金保有月商倍率 (" 1.5ヶ月以上)	2.5ヶ月	2.0ヶ月	△0.5ヶ月	-

【配当予測】

配当額	70円	77円	+7円	-
配当性向	20.2%	21.6%	+1.4%	-

配当については、2022年9月期までに、配当性向30%を目指す。

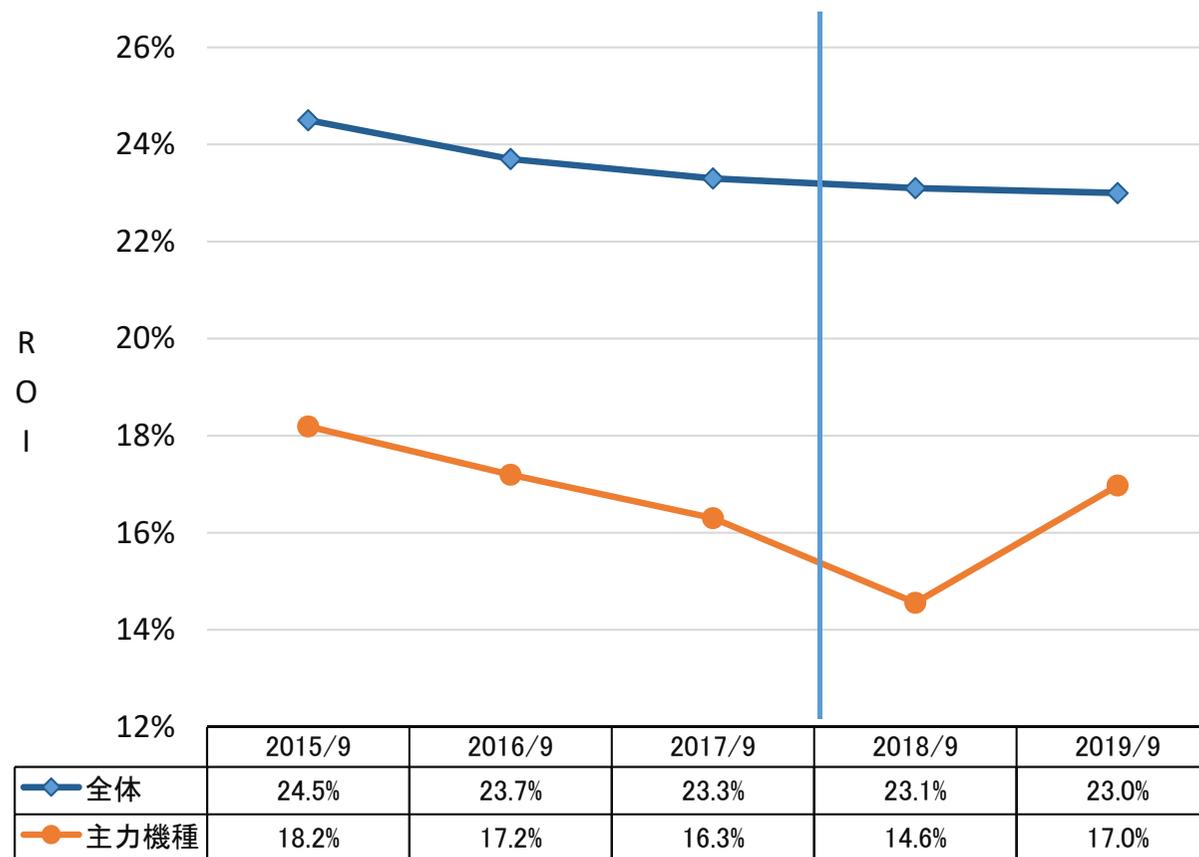
(注)・有利子負債月商倍率＝有利子負債/(売上高/12ヶ月)
 ・現預金保有月商倍率＝現預金/(売上高/12ヶ月)

**中期経営計画”Beyond 2020”
に対する進捗状況**

1. "Beyond2020"～ROIの推移

ROIの推移(単体)

(単位: %)



中期計画テーマ
『ROIの改善』

- 全体として下落傾向にあるが、歯止めがかかりつつある。
- 主力機種(土木舗装機械、車両、高所作業機、等)は上昇に転じた。

※ROI(レンタル資産投資回収率) = レンタル収入額 / レンタル資産の取得価格。

例) 取得価格100万円のレンタル資産が、1年間で20万円のレンタル収入を得た時の投資回収率は、年間20万円 / 100万円 × 100 = 20%/年

2. "Beyond2020" ~重点ターゲット売上

(単位:百万円)

	2017/9	2018/9	前年比 及び増減	2019/9	前年比 及び増減	2020/9 計画	前年比 及び増減
売上高	123,538	136,682	110.6%	153,939	112.6%	161,830	105.1%
ICT	3,800	4,687	123.3%	5,711	121.8%	7,000	122.6%
インフラメンテナンス	1,800	2,197	122.1%	2,474	112.6%	3,000	121.3%
プラント	2,600	4,535	174.4%	6,117	134.9%	6,200	101.4%
オリンピック(イベント)	0	0	—	200	—	4,600	2300.0%
海外	6,500	10,345	159.2%	12,824	124.0%	15,772	123.0%

重点ターゲット

- ROI改善の為、重点ターゲットを設定
- 各ターゲットに対する売上は概ね順調に推移し、ROI改善に向けての下支えとなっている。

3. "Beyond2020"～海外戦略

(単位:百万円)

	2018/9	2019/9	前年比	2020/9 売上計画	前年比
設立会社	4,510	4,441	98.5%	3,900	87.8%
M&A会社	5,834	8,382	143.7%	11,871	141.6%
	10,345	12,823	124.0%	15,772	123.0%

事業の特徴
<ul style="list-style-type: none"> ・マレーシア、タイ、シンガポール、ベトナム等で新規会社を”設立” ・日系ゼネコン、建設会社の海外工事対応 ・建機全般対応
<ul style="list-style-type: none"> ・オーストラリア、シンガポール等で、海外戦略に合う会社を“M&A” ・ローカルユーザーを対応 ・特定の機械に絞って対応



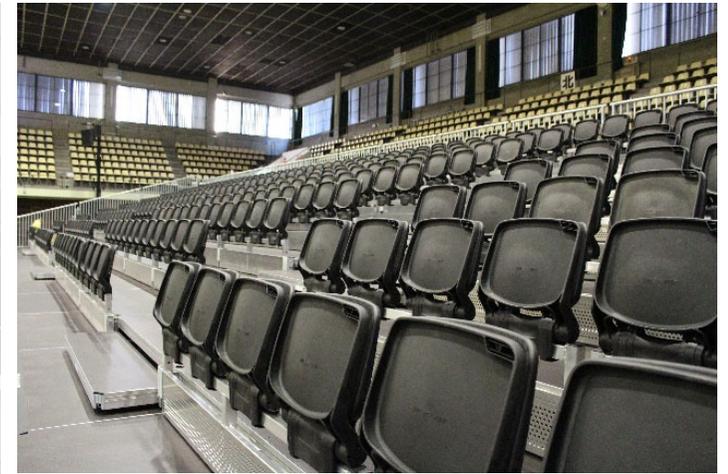
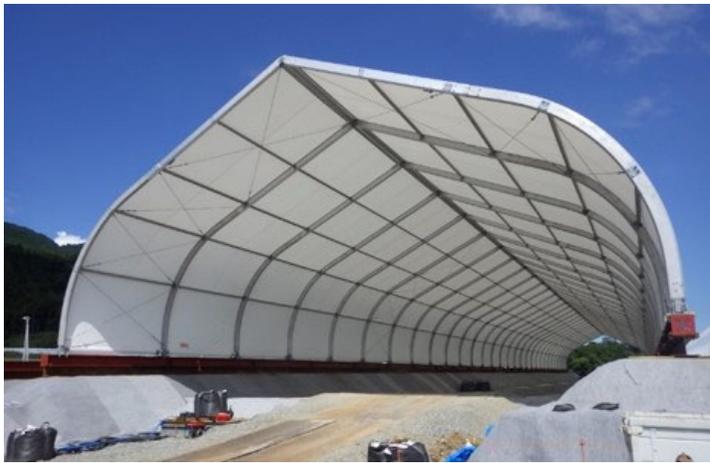
大型発電機、AWP、
フォークリフトに注力

- 大型発電機では、UPR社(シンガポール)を買収(売上23億円規模)
- フォークリフトでは、レンクロー社(オーストラリア)を買収(売上21億円規模)

※AWP…aerial work platform(高所作業機)

4. "Beyond2020" ~オリンピックパラリンピック(テント・観覧席)

		2019/9		2020/9計画	
大型テント		87,715m ²	20億円	118,000m ²	30億円
観覧席	屋外用	5,000席	3億円	5,000席	3億円
	屋内用	1,400席	0.8億円	5,000席	3億円



テント・観覧席

- オリンピック・パラリンピックを活用して、資産を充実
- テント、観覧席については、日本のマーケットで今後必要な物量を確保できた。

5. "Beyond2020" ~オリンピックパラリンピック(ビジュアル)

レンタル資産保有高	2018/9	2019/9	2020/9計画
LEDディスプレイ機材	7億円	8億円	13億円
中継機材(4K中継車含む)	4億円	7億円	23億円
撮影機材	4億円	4億円	4億円
合計	15億円	19億円	40億円



ビジュアル

- イベント向けLEDディスプレイのニーズが急拡大
- 4K中継車(@10億円)を導入。中継事業拡大



ボッチャ

- 2017年から日本財団パラリンピックサポートセンター主催の「あすチャレ！運動会」に積極参加
- 2018年 社員180名参加の企業パラスポーツ運動会を開催
- ボッチャ日本代表の廣瀬隆喜選手(北京、ロンドン、リオパラリンピック出場)が当社所属アスリートとして活躍中

7. "Beyond2020" ~オリンピックパラリンピック(売上)

	売上の増減要因	売上見込
建機部門	オリンピック関連工事(+)、オリンピック期間中の工事(-)	▲7.8億円
	各地会場における通信機器レンタル(+)	+5.9億円
イベント部門	東京ビッグサイトでの展示会中止(-)	▲4億円
	ラグビーW杯(+)	+2億円
	大型テント、観覧席、等によるオリンピック関連売上(+)	+38億円
	ビジュアル商品によるオリンピック関連売上(+)	+6億円
合計		40.1億円

建機部門

- オリンピック期間中は、都内中心に工事量減少見込み

イベント部門

- オリンピック関連の売上が下期中心に売上貢献見込み

8. 次期中期計画(2020/10～)に向けて

大阪・咲洲地区で
『R&D国際交流センター
(仮称)』 構想

- AI・ITを駆使し、レンタル機械の自動運転、自律運転推進
- 工事車両や建設機材のシェアリング(無人店舗)の推進
- 2020年以降、成熟した国内市場においても成長するビジネスモデルの構築



9. 次期中期計画(2020/10~)に向けて

自動運転システム

- 当社の技術力自動運転・自律運転システム

無人レンタルサービス

- モビステーションは、全国100箇所。中部・関西中心に拡大中
- 万博公園(吹田市)では、フォークリフトのシェアリングもスタート



24時間 365日
自由に引き取り、自由に返却

あなたの仕事をもっと「自由」にする、予定に合わせてお手軽に使える新しい作業車のレンタルのカタチ。はたらく車のカーシェアリング!



誰にでもすぐに動かせる自動運転!

- ①簡単エリア設定
ワンマン測量セットで走行させたいエリア角の座標を取得するだけの簡単エリア設定
- ②走行コースの自動生成
自動生成は、スイッチバック、渦巻き、整氷のモードボタンを押すだけです
- ③走行は遠隔操作パソコンからモニタリング可能
走行状態をリアルタイムで表示します。リモコンやセンサーによる緊急停止も可能です
- ④自動運転は遠隔操作パソコンから開始ボタンを押すだけ
離隔、間隔、速度の詳細設定も可能です
- ⑤ラジコンで遠隔操作可能
ラジコンユニットを接続するだけで専用操作器でラジコンになります
- ⑥搭乗運転可能
スイッチで切換え、搭乗してのマニュアル運転もできます



10. 次期中期計画(2020/10～)に向けて

MICE事業

- 関西・大阪万博会場の一番近くに位置する咲洲において、日常から離れた空間を提供する事で、イベントを誘致



2019.8月に、MOVE-Sシステム(江東区有明ショールーム開設)

2017.4月に、うめきた発見伝(うめきた2期区域用地にて開催)

本資料に記載されている、当期ならびに将来の業績に関する予想、計画、見通し等は、作成時点で入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものです。実際の業績は、様々な要因の変化により、記載されている予想、計画、見通しとは、大きく異なることがあります。そのような要因としては、経済情勢、市場環境および競合環境、国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更等が含まれます。

西尾レントオール株式会社 社長室〔IR〕

<http://www.nishio-rent.co.jp/>

TEL. 06(6251)7302

FAX. 06(6252)0285

E-MAIL ir@nishio-rent.co.jp

2019.11.19